

介護保険事業実績の分析

(1) 介護給付費実績（予防含む）

		第8期						第9期			
		R4			R5			R6			
		計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比	実績値対前年比
施設サービス	小計 (円)	3,945,219,000	3,846,509,466	97.5%	3,950,102,000	3,991,573,164	101.0%	3,993,897,000	4,240,879,320	106.2%	106.2%
	介護老人福祉施設 (円)	1,888,721,000	1,916,765,813	101.5%	1,888,721,000	1,933,872,239	102.4%	1,907,316,000	2,014,228,501	105.6%	104.2%
	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 (円)	0	0	-	0	0	-	0	0	-	-
	介護老人保健施設 (円)	1,858,800,000	1,806,743,776	97.2%	1,858,800,000	1,906,925,910	102.6%	1,889,940,000	2,039,215,897	107.9%	106.9%
	介護医療院 (円)	160,737,000	90,133,603	56.1%	165,620,000	115,978,887	70.0%	196,641,000	187,305,754	95.3%	161.5%
	介護療養型医療施設 (円)	36,961,000	32,866,274	88.9%	36,961,000	34,796,128	94.1%	0	129,168	-	0.4%
居住系サービス	小計 (円)	1,207,004,000	1,060,997,035	87.9%	1,276,676,000	1,143,384,215	89.6%	1,234,326,000	1,223,876,023	99.2%	107.0%
	特定施設入居者生活介護 (円)	552,238,000	469,188,161	85.0%	565,611,000	502,613,725	88.9%	525,966,000	528,673,207	100.5%	105.2%
	地域密着型特定施設入居者生活介護 (円)	0	0	-	0	0	-	0	0	-	-
	認知症対応型共同生活介護 (円)	654,766,000	591,808,874	90.4%	711,065,000	640,770,490	90.1%	708,360,000	695,202,816	98.1%	108.5%
在宅サービス	小計 (円)	6,651,588,000	6,337,695,756	95.3%	7,095,979,000	6,690,722,949	94.3%	6,903,847,000	6,828,711,639	98.9%	102.1%
	訪問介護 (円)	576,251,000	680,905,832	118.2%	612,694,000	730,818,767	119.3%	766,371,000	733,639,425	95.7%	100.4%
	訪問入浴介護 (円)	105,250,000	82,904,781	78.8%	111,932,000	82,147,724	73.4%	94,323,000	76,604,289	81.2%	93.3%
	訪問看護 (円)	137,066,000	163,397,571	119.2%	143,699,000	158,822,453	110.5%	186,686,000	192,826,763	103.3%	121.4%
	訪問リハビリテーション (円)	107,506,000	102,396,354	95.2%	112,602,000	115,785,698	102.8%	112,187,000	130,809,879	116.6%	113.0%
	居宅療養管理指導 (円)	72,048,000	84,597,040	117.4%	75,262,000	97,541,312	129.6%	101,873,000	112,333,958	110.3%	115.2%
	通所介護 (円)	2,126,488,000	2,000,040,243	94.1%	2,208,129,000	2,109,935,828	95.6%	2,127,679,000	2,029,247,218	95.4%	96.2%
	地域密着型通所介護 (円)	406,786,000	374,377,693	92.0%	425,426,000	393,219,198	92.4%	406,351,000	382,738,752	94.2%	97.3%
	通所リハビリテーション (円)	648,682,000	584,891,964	90.2%	665,209,000	615,959,360	92.6%	645,169,000	634,294,573	98.3%	103.0%
	短期入所生活介護 (円)	523,559,000	436,978,783	83.5%	555,417,000	456,769,395	82.2%	481,933,000	450,621,209	93.5%	98.7%
	短期入所療養介護（老健） (円)	55,863,000	41,266,747	73.9%	59,535,000	41,389,767	69.5%	41,474,000	45,103,900	108.8%	109.0%
	短期入所療養介護（病院等） (円)	0	0	-	0	0	-	0	0	-	-
	短期入所療養介護（介護医療院） (円)	0	0	-	0	0	-	0	0	-	-
	福祉用具貸与 (円)	446,039,000	439,990,738	98.6%	471,300,000	474,496,145	100.7%	482,309,000	489,042,044	101.4%	103.1%
	特定福祉用具販売 (円)	14,215,000	18,461,916	129.9%	14,652,000	16,933,240	115.6%	17,117,000	20,514,620	119.8%	121.1%
	住宅改修 (円)	40,332,000	33,779,041	83.8%	41,172,000	36,404,903	88.4%	43,436,000	40,273,862	92.7%	110.6%
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (円)	198,255,000	171,990,378	86.8%	321,018,000	161,614,385	50.3%	158,252,000	186,048,530	117.6%	115.1%
	夜間対応型訪問介護 (円)	0	0	-	0	0	-	0	0	-	-
	認知症対応型通所介護 (円)	20,136,000	15,501,820	77.0%	20,180,000	16,822,883	83.4%	13,394,000	14,871,810	111.0%	88.4%
	小規模多機能型居宅介護 (円)	428,474,000	367,640,323	85.8%	446,645,000	393,536,540	88.1%	410,883,000	433,590,643	105.5%	110.2%
看護小規模多機能型居宅介護 (円)	71,579,000	50,963,549	71.2%	113,546,000	77,311,884	68.1%	64,997,000	133,548,094	205.5%	172.7%	
介護予防支援・居宅介護支援 (円)	673,059,000	687,610,983	102.2%	697,561,000	711,213,467	102.0%	749,413,000	722,602,070	96.4%	101.6%	
合計 (円)	11,803,811,000	11,245,202,257	95.3%	12,322,757,000	11,825,680,328	96.0%	12,132,070,000	12,293,466,982	101.3%	104.0%	

【実績値】厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）。ただし「第7期の短期入所療養介護（病院等）」には短期入所療養介護（介護医療院）が含まれる。」

「第7期の短期入所療養介護（介護医療院）は単独の計画値がないため実績値のみ表示している。」「施設サービスの利用者数については、同一月に2施設以上でサービスを受けた場合、施設ごとにそれぞれ利用者数を1人と計上するが、小計には1人と計上している。」

【計画値】介護保険事業計画にかかる保険者からの報告値

(2) 介護給付人数実績（予防を含む）

		第8期										
		R4			R5			R6				
		計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比	実績値対前年比	
施設サービス	小計	(人)	14,160	13,918	98.3%	14,172	14,127	99.7%	13,896	14,412	103.7%	102.0%
	介護老人福祉施設	(人)	7,032	7,236	102.9%	7,032	7,190	102.2%	7,032	7,253	103.1%	100.9%
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	(人)	0	0	-	0	0	-	0	0	-	-
	介護老人保健施設	(人)	6,540	6,276	96.0%	6,540	6,450	98.6%	6,288	6,645	105.7%	103.0%
	介護医療院	(人)	444	267	60.1%	456	340	74.6%	576	513	89.1%	150.9%
	介護療養型医療施設	(人)	144	139	96.5%	144	147	102.1%	0	1	-	0.7%
居住系サービス	小計	(人)	5,496	4,683	85.2%	5,784	5,058	87.4%	5,364	5,291	98.6%	104.6%
	特定施設入居者生活介護	(人)	2,988	2,469	82.6%	3,060	2,616	85.5%	2,724	2,687	98.6%	102.7%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	(人)	0	0	-	0	0	-	0	0	-	-
	認知症対応型共同生活介護	(人)	2,508	2,214	88.3%	2,724	2,442	89.6%	2,640	2,604	98.6%	106.6%
在宅サービス	訪問介護	(人)	8,964	9,873	110.1%	9,348	10,228	109.4%	10,716	10,187	95.1%	99.6%
	訪問入浴介護	(人)	1,596	1,313	82.3%	1,692	1,315	77.7%	1,464	1,223	83.5%	93.0%
	訪問看護	(人)	4,860	4,898	100.8%	5,088	5,025	98.8%	5,736	5,888	102.6%	117.2%
	訪問リハビリテーション	(人)	3,384	2,935	86.7%	3,528	3,282	93.0%	3,180	3,728	117.2%	113.6%
	居宅療養管理指導	(人)	9,468	9,857	104.1%	9,900	10,872	109.8%	11,364	12,087	106.4%	111.2%
	通所介護	(人)	21,096	21,572	102.3%	21,540	22,050	102.4%	22,356	21,578	96.5%	97.9%
	地域密着型通所介護	(人)	5,652	4,854	85.9%	5,868	5,075	86.5%	5,304	4,939	93.1%	97.3%
	通所リハビリテーション	(人)	9,936	9,226	92.9%	10,308	9,672	93.8%	10,128	10,156	100.3%	105.0%
	短期入所生活介護	(人)	6,180	5,675	91.8%	6,492	6,066	93.4%	6,192	6,046	97.6%	99.7%
	短期入所療養介護（老健）	(人)	948	697	73.5%	1,008	709	70.3%	696	714	102.6%	100.7%
	短期入所療養介護（病院等）	(人)	0	0	-	0	0	-	0	0	-	-
	短期入所療養介護（介護医療院）	(人)	0	0	-	0	0	-	0	0	-	-
	福祉用具貸与	(人)	37,404	36,830	98.5%	39,360	38,355	97.4%	39,564	39,555	100.0%	103.1%
	特定福祉用具販売	(人)	492	548	111.4%	504	457	90.7%	480	583	121.5%	127.6%
	住宅改修	(人)	480	372	77.5%	492	398	80.9%	456	444	97.4%	111.6%
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(人)	1,176	1,137	96.7%	1,944	1,038	53.4%	1,020	1,141	111.9%	109.9%
	夜間対応型訪問介護	(人)	0	0	-	0	0	-	0	0	-	-
	認知症対応型通所介護	(人)	204	132	64.7%	204	125	61.3%	96	125	130.2%	100.0%
	小規模多機能型居宅介護	(人)	2,184	1,764	80.8%	2,268	1,919	84.6%	1,980	2,047	103.4%	106.7%
	看護小規模多機能型居宅介護	(人)	288	208	72.2%	456	335	73.5%	288	530	184.0%	158.2%
介護予防支援・居宅介護支援	(人)	51,348	50,970	99.3%	53,112	52,257	98.4%	54,120	53,404	98.7%	102.2%	

188,363

194,400

194,078

99.80%

103%

【実績値】厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）。ただし「第7期の短期入所療養介護（病院等）」には短期入所療養介護（介護医療院）が含まれる。」

「第7期の短期入所療養介護（介護医療院）は単独の計画値がないため実績値のみ表示している。」「施設サービスの利用者数については、同一月に2施設以上でサービスを受けた場合、施設ごとにそれぞれ利用者数を1人と計上するが、小計には1人と計上している。」

【計画値】介護保険事業計画にかかる保険者からの報告値

(3) 介護給付費・給付人数の計画値と実績値の乖離について

1施設サービス

サービス種類	要因・分析
介護老人保健施設(老健)	・令和6年度は給付費・介護給付人数ともに計画を上回った。介護給付人数が計画を上回り算定日数が増加したことによる。背景として、令和5年度末で廃止となった介護療養型医療施設の利用者移行の影響が一定程度継続したことに加え、令和5年11月開設の介護医療院は立ち上げ期であり、移行ニーズの吸収に時間を要した可能性がある。
介護医療院	・令和5年11月に医療病床からの転換により介護医療院40床が開設し、稼働が安定し実績に通期で反映されたことで給付費・介護給付人数ともに前年度を大きく上回った。一部の利用者は医療保険から介護保険による給付に転換しているため、他の介護サービスからの移行ではない純増となっている。

2居住系サービス／在宅サービス

サービス種類	要因・分析
【地域密着型サービス】 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	・令和6年7月に1事業所が開設し、利用者数・給付費が前年度を上回ったが実績値は計画範囲内となった。 ・本市では、「藤枝市認知症とともに生きる共創のまちづくり条例」に基づき、認知症の人や家族が安心して自分らしく暮らせるまちを目指しており、第9次期間中においても、引き続き公募を行い、必要なサービス量の確保を図っていく。
訪問看護	・第8次期間から引き続き、令和6年度実績も計画を上回る介護給付費を支出した。介護給付費・介護給付人数ともに前年度比120%前後と大きく伸びており、訪問看護の需要が高まっていることが推測される。
居宅療養管理指導	・第8次期間から引き続き、令和6年度実績も計画を上回る給付費を支出し、利用者数も計画を上回った。 ・要介護度別では、要介護3以上の利用者の伸びが中心だった。本市で実施したアンケート結果によると、本市の要介護者の6割以上が在宅での生活を続けることを希望しており、できる限り住み慣れた地域で生活する上でも、居宅療養管理指導の需要が高いと考えられる。
【地域密着型サービス】 看護小規模多機能型居宅介護	・令和5年3月末に1事業所が開設し、令和6年度の利用者数・給付費ともに計画及び前年度を大きく上回った。 ・要介護度別では、要介護2以上の利用者の伸びが中心だったため、医療ケアが必要としている看取り期または病状不安定期でありながら、在宅生活を継続したい人が増加傾向にあるといえる。
【地域密着型サービス】 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の実施事業者が市内に1事業所のみであり、需要に供給が追いついていない状況である。令和5年度は開設を見込んだ利用者数・給付費の計画としていたが、事業者の指定・開設に至らなかったため計画を下回る実績となったが、令和6年度は前年度に比べ計画値を引き下げたため、計画値に近い実績となっている。 ・第8次期間中に続き、令和6年度も利用者数・給付費ともに増加しており、移行元のサービスである訪問看護が計画値以上の給付費を支出しているため、サービスの需要は継続して見込まれる状況である。第9次期間中においても、引き続き公募を行い、必要なサービス量の確保を図っていく。
居宅介護支援・介護予防支援	・利用者数・給付費ともにおおむね計画値の近辺を示しているが、令和6年度も増加傾向にある。 ・全体の高齢者数・認定者数の増加に伴い、介護サービスの利用も増えるため、令和7年度以降も増加傾向は継続すると見込んでいる。

(4) まとめ

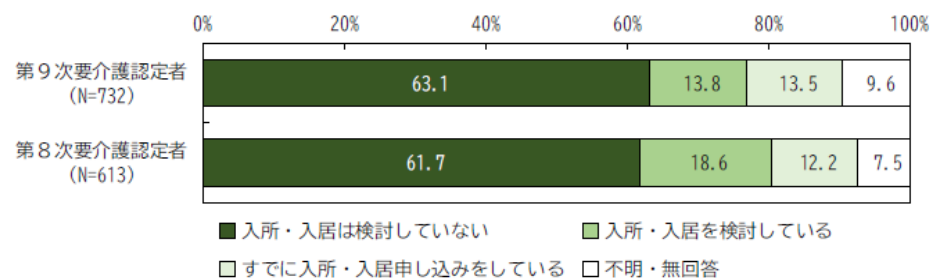
- ・各サービスの介護給付費実績合計は計画値を上回った一方、合計利用者数は計画値の範囲内だった。
⇒ 利用者数の大幅な増加というよりも、1人あたりのサービス利用量(算定日数、提供回数等)の増加や、重度者割合の上昇、医療ニーズの高まりに伴うサービス提供量の増加等により、給付費が押し上げられたものと考えられる。
- ・在宅生活を支えるサービスのうち、医療ニーズの高い利用者の在宅生活継続(退院後の受け皿、看取り期・病状不安定期の支援等)に対応する居宅療養管理指導、訪問看護、訪問リハビリテーションに加え、訪問介護や福祉用具貸与・福祉用具購入・住宅改修も前年度比で大きく伸長している。
⇒ 在宅療養を支える医療系サービスの需要が高い状況がうかがえるとともに、在宅での生活継続に向けた支援(転倒予防、ADL低下への対応、介護者負担軽減等)の利用が進んだ可能性がある。
- ・また、小規模多機能型居宅介護(小多機)は前年度比110%、看護小規模多機能型居宅介護(看多機)は前年度比172%と伸長がみられた。
⇒ 小多機は「通い・泊まり・訪問」の組合せにより在宅生活を支えるサービスであり、看多機は訪問看護機能を含むことから、医療ケアが必要な利用者の在宅生活継続の受け皿として利用が進んだ可能性があるほか、開設後の立ち上がりが進み稼働が安定したことで、実績が前年度を大きく上回った可能性がある。
- ・本市アンケートにおいて要介護者の在宅生活継続意向が一定程度みられることに加え、志太医師会等の関係機関と連携した医療・介護連携の推進により、医療・介護サービスを組み合わせながら在宅で生活する選択が取りやすくなったことも、医療系サービスを中心とした実績伸長に影響した可能性がある。

(5) 参考資料

1 在宅要介護者の施設等への入所・入居の検討状況

在宅で生活する要介護認定者のうち、約6割が施設等への「入所・入居は検討していない」と回答しており、要介護3以上でも5割以上が同様に回答しています。

■現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください【在宅要介護認定者】



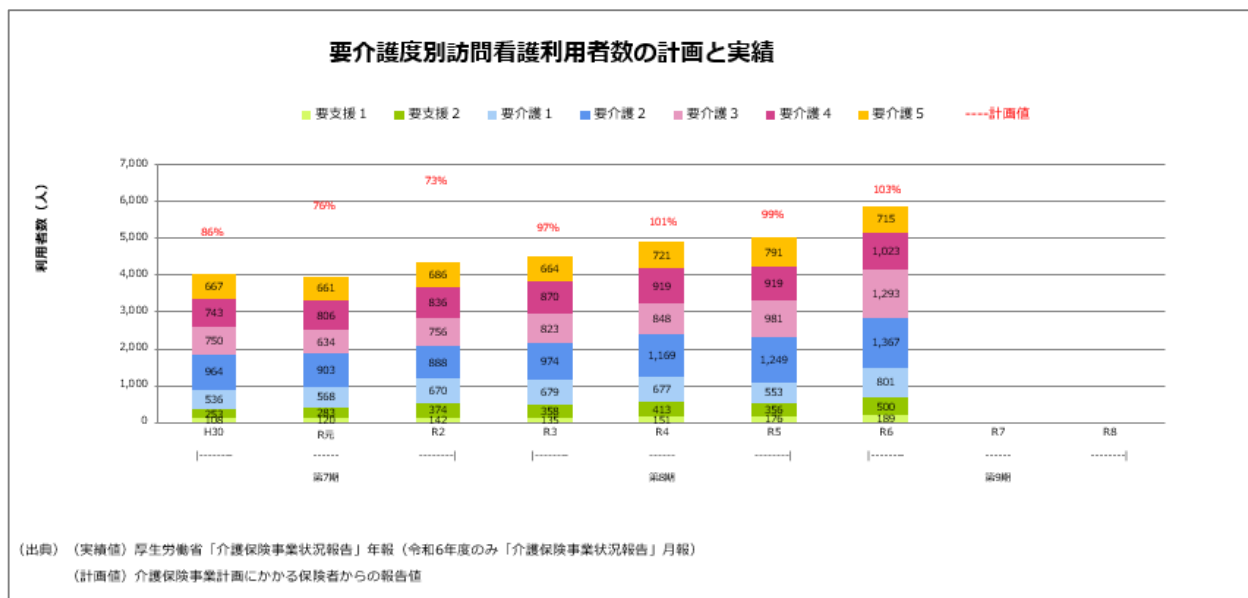
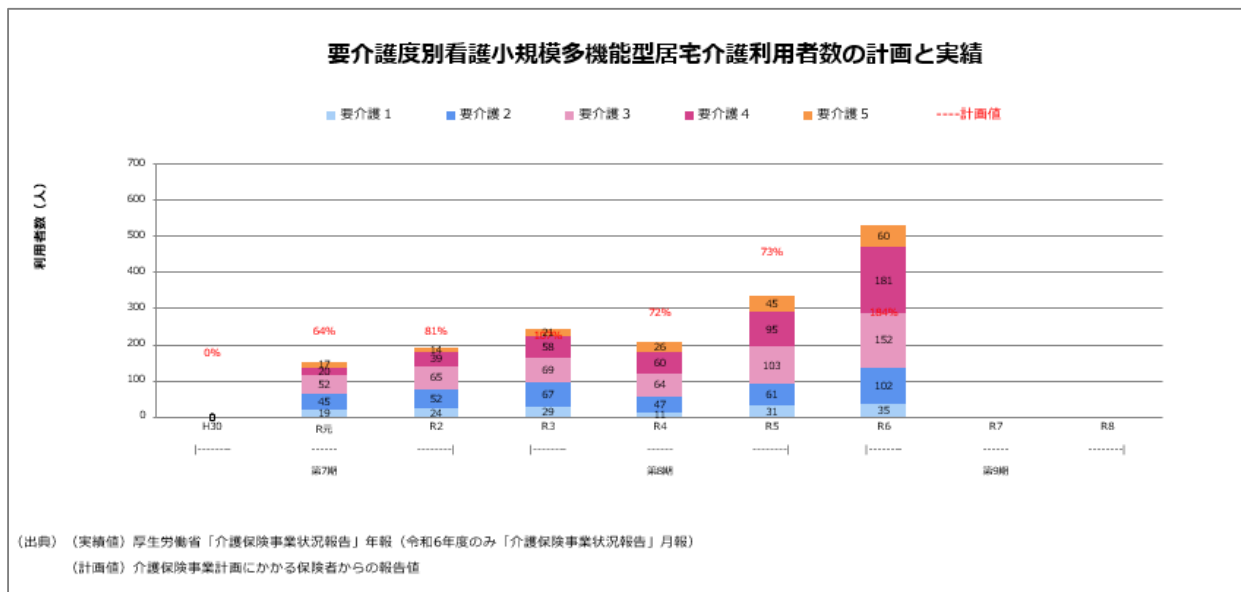
■要介護度別にみた家族や施設入所の検討状況【在宅要介護認定者】

単位：%

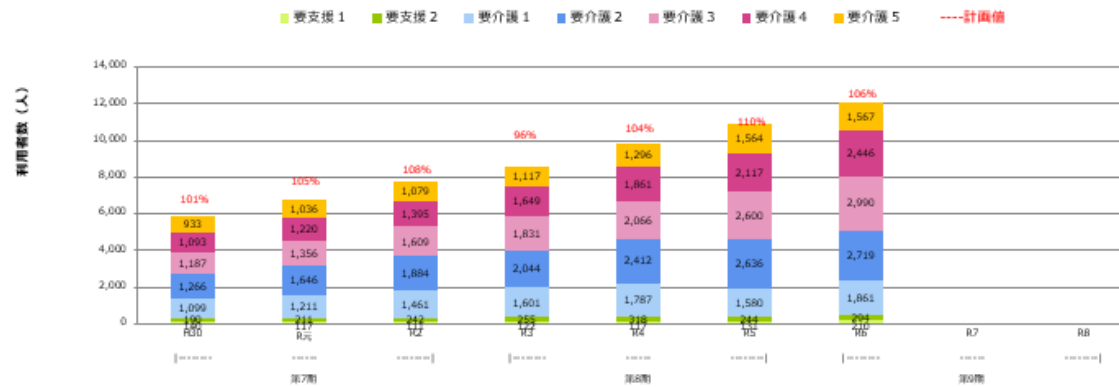
	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	不明・無回答
要介護1 (n=215)	72.6	10.7	6.5	10.2
要介護2 (n=205)	68.3	11.7	9.8	10.2
要介護3 (n=155)	52.9	20.6	18.7	7.7
要介護4 (n=99)	53.5	12.1	23.2	11.1
要介護5 (n=58)	53.4	17.2	22.4	6.9

出典：『第9次ふじえだ介護・福祉ぷらん21』27ページ

2介護サービスの要介護度別の利用者数(抜粋)

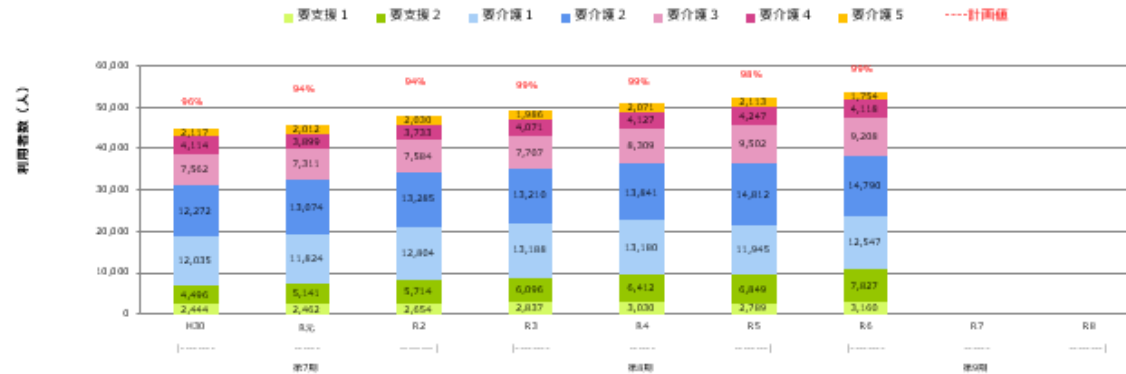


要介護度別居宅療養管理指導利用者数の計画と実績



(出典) (実績値) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)
 (計画値) 介護保険事業計画にかかる保険者からの報告値

要介護度別介護予防支援・居宅介護支援利用者数の計画と実績



(出典) (実績値) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)
 (計画値) 介護保険事業計画にかかる保険者からの報告値